

競技注意事項

1 本大会は2025年度日本陸上競技連盟競技規則に準じて行うが、児童である年齢を考慮した教育的配慮のもとに競技を進行する。

2 競技方法について

(1) 履物は運動靴、またはスパイクシューズ(ピンは全種目9mm以内)とし、素足での出場は禁止する。

(2) 招集はG1ゲート(100mスタート付近)で行う。トラック競技は、競技開始時刻20分前、フィールド競技は、競技開始時刻の30分前に招集完了とする。なお、当該選手以外(監督・保護者)の招集所への立ち入りを禁止する。

【トラック競技】

(1) スタートの合図はイングリッシュコールとし、クラウチングスタートを原則とする。スターティングブロックは使用しなくても良い。(スタンディングスタートは、ケガ・障害がある場合の特例措置。)

(2) 同じ競技者が2回の不正スタートをしたとき、その競技者を失格とし、オープン参加として走る。

(3) リレーは男女各2名から編成され、走順は自由とする。また、選手のユニフォームは、原則、チーム全選手とも同一デザイン(男女による型の違いは認める)のものとする。

(4) 5・6年100mは、予選をタイムレースで行い、上位選手8人で決勝を行う。4×100mリレー、およびオープン種目は、タイムレース決勝で順位を決定する。友好100mは順位決定を行わない。

(5) リレー競走における、テイク・オーバー・ゾーンは基準点30mとする。テイク・オーバー・ゾーン外から走り出しはならず、ゾーンの中でスタートしバトンパスを完了させなければならない。

(6) リレーオーダー用紙は、招集所で配布する。第1組目の招集完了時刻1時間目までに競技者係に提出する。提出後の変更は認められない。ただし、主催者が任命した医務員(看護師)の判断があった場合を除くが、走順の変更はできない。

【コンバインド競技】

(1) 競技は、A・Bともに2種目の合計得点で順位を決定する。合計得点が同点の場合は、同順位とし、80mハードルと走幅跳における風速は得点・順位に影響しない。フィールド種目の試技時間は60秒以内とする。なお、各種目の得点は、『小学生コンバインド種目得点表(2022年改訂)』による。

(2) 80mハードルは、高さ約70cm、ハードル数9台、ハードル間7m、スタートから第1ハードルまで13m、最終ハードルからフィニッシュまで11mで行う。

(3) 走高跳の跳び方は「はさみ跳び」とし、脚が最初にバーを越え、マットへの着地は足裏からとする。バーの上げ方は次の通りとする。

男子 1m00(練習)	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	以降 2cmずつ
女子 1m00(練習)	1m00	1m05	1m10	1m15	1m20	以降 2cmずつ

なお、試技は自分が申告した高さから開始し(パス出来る)、2回続けて失敗した時点で終了とする。

(4) 走幅跳、ジャベボール投は全員2回ずつの試技を行い、良い記録を得点に換算する。走幅跳は2ピットで行う。

(5) ジャベボール投の助走距離は15m以内とし、ボール本体を持ち、オーバーハンスローで投げることにする。(羽だけを持って投げることは禁止する。)

(6) スタートまたは試技を行い、50点以下の記録は、すべて50点とし、参考記録(80mハードルにおけるオープン参加時)、記録無し、失格の場合は、0点とする。スタートまたは試技を行わない場合も、棄権とし0点とする。なお、最初の種目で記録が無い場合も、2種目目に出場できるが、棄権した競技者は出場できない。

【4年走幅跳・ジャベボール投】

(1) 試技は全員3回ずつ行い、順位を決定する。

3 表彰・上位大会の手続きについて

各種目(友好100mを除く)8位までの入賞者には賞状、3位までの入賞者にはメダルを授与する。また、参加者全員に参加記念品と記録証を授与する。入賞者は、結果発表後ただちに表彰者待機場所に集合すること。

4 練習場として、本競技場バックスタンド前直線、場外直線走路を提供する。利用者は、競技場使用の申し合わせ事項に従い、競技準備等の妨げ、他者とのトラブルのないように担当係の指示に従って練習すること。

5 競技場内や練習場では、事故のないように十分注意すること。また、児童の体調管理は、引率者や保護者が行い、出場に際しては無理のないよう配慮すること。

6 健康上の問題が生じた場合は、大会本部に連絡すること。

7 リレーのエントリーから外れた選手による友好レース(100m)出場者変更は、「友好変更届け」に必要事項を記入しオーダー提出時に合わせて提出すること。